

大学の「今」をもっと知りたい!!

IKUYU

石巻専修大学

育友会広報誌

[いくゆう]

vol.32

2025.12

ISHINOMAKI SENSHU UNIVERSITY



特集

今年も大盛況でした!

石鳳祭&育友会100円カレー

石鳳祭

メインテーマ「黎明」のもと、盛大に開催されました。

令和7年10月11日(土)、12日(日)の2日間にわたり開催された「石鳳祭2025」は、メインテーマ「黎明」のもと、石鳳祭実行委員会の主催で盛大に行われました。本年度は延べ約2,200名もの皆さまにご来場いただき、昨年度の1,500名を大きく上回る賑わいとなりました。

祭りの両日には、笑いと感動、そして交流の場として多彩な企画が繰り広げられました。

- ・人気芸人による「special お笑い芸人 LIVE『真空ジェシカ、ゆめちゃん』」
- ・模擬店・キッチンカー・フリーマーケットによる活気あふれる会場
- ・まほろば薫による和歌と即興琴のステージでの雅やかなひととき
- ・インフルエンサー・ウンパルンパによるステージでの新しい風

来場者の皆さまに心から楽しんでいただける内容となり、石鳳祭はまさに「黎明」というテーマにふさわしい、新たな一步を刻む大学祭となりました。
ご来場いただきました皆さまに、改めて厚く御礼申し上げます。



石鳳祭実行委員会 委員長 武山 将大

石巻専修大学「石鳳祭2025」は、「黎明」をメインテーマに掲げ、盛会のうちに無事終了いたしました。昨年度、コロナ禍流行前の賑わいを取り戻した成果を踏まえ、「黎明」(新しい時代を創る、始まり)の名の通り、今後の石鳳祭に挑戦し続けるための第一步を踏み出すことができました。今年度はより多くの学生の皆様に石鳳祭を楽しんでいただけるよう新たな試みとして学生の皆様へ金券を配布する学生会企画を実施し、より多くの方に楽しんでいただきました。初日は、石巻好文館高等学校チアリーディング部の皆様をはじめ、ダンス愛好会など多くの団体が出演。最後は人気お笑い芸人の真空ジェシカさん、ゆめちゃんさんによるお笑いLIVEで締めくくりました。2日目には、学生会企画としてインフルエンサーのウンパルンパさんを招待。フィナーレでは花火の打ち上げを実施し、盛況のまま閉幕いたしました。開催にあたりご協力いただきました地域の皆様、企業の皆様、そしてご来場いただいた全ての方々に、実行委員会一同、心より御礼申し上げます。

一般参加で学祭餅つきにご協力いただきました

相澤様

初めての参加でしたが、学生と同じでお祭り自体活気があり、とても楽しい大学祭でした。育友会は学生のことを考えてくれるすばらしい活動だと感じ、今後もお手伝いできることができれば協力したいです。

三浦様

子どもたちの笑顔が見られて良かったです。ぜひ来年も参加したいです。育友会の活動はこれからも続けてほしいです。



お腹も心も満たす、100円カレー企画

物価高騰が続く中、学生生活における食費の負担はますます大きくなっています。そんな状況で、少しでも学生の力になりたい。その思いから生まれたのが「100円カレー」企画です。栄養たっぷりで温かいカレーを、誰もが気軽にお腹いっぱい食べられるように継続されました。令和7年度前期は、14日間にわたり提供し、1日平均260食、合計3,642食と大好評をいただきました。



100円カレーをモリモリ食べる学生たち!



100円カレーは女子にも人気!



100円カレー配膳中!!

学び

FACULTY

未来を担う、エンジニア、スペシャリスト、

理工学部

石巻で育む自然の知恵と最先端技術の未来。

理工学部紹介

生物科学科

特徴

- 海から山までフィールドに恵まれた石巻で実践的に学ぶ
- 分子から環境までサイエンスを総合的に学ぶ
- バイオサイエンスの学びを通して思考力と対話力を養う



■海洋生物・環境コース

多様な授業や実験を通して海洋生物と環境に関する幅広い知識を身につけます。生き物や自然に直接触れながら、実践的に学びます。

■動物・植物コース

豊かなフィールドで生物観察や行動調査などの実習を行い、動物や植物の生態・生理・発生・分類・進化について専門知識を深めます。

■微生物・生命分子コース

様々な生命現象を分子レベルから探究することにより生命への理解を深め、授業・実験・実習を通して微生物と生命分子を探る力を総合的に高めています。

■自然科学コース

分野を問わず幅広く自然科学を学びたい人、中学・高校理科の教員をめざしたい人に適したコースです。興味に応じた専門科目の履修が可能です。

機械工学科

特徴

- 機械創造と自動車の2つのコースで専門性を磨く
- 少人数による体験を多く取り入れた学びの環境
- 工学系学科横断の教育プログラム



■機械創造コース

ロボットやエネルギー関連機器などの「ものづくり」に関わる専門知識と技術を習得し、実験や実習をとおして、機械の動作原理や構造を学びます。

■自動車コース

自動車をベースとして、幅広い専門知識と技術を習得しています。現場を想定した整備実習をとおして、自動車の機能や構造を学びます。

情報電子工学科

特徴

- 自ら手を動かす実践的教育
- 社会のニーズに応える2つのコースを設定
- 多彩な機能を持つ本格的な設備



■情報通信コース

人工知能、IoT、ロボットなどの先進的デジタル技術を駆使して、持続可能で豊かな社会の実現に積極的に貢献できる人材の育成をめざします。

■電気電子コース

半導体デバイス、集積回路に関わる実験、プログラミングを駆使したシミュレーションなどを通じて、次代を担う電気電子工学エンジニアの育成をめざします。



研究者、経営者、ビジネスパーソン、教育者、文化人を育成する

経営学部

学びの舞台は石巻。最新の経営知識と実践力で地域に活力を。

経営学科

特徴

- 経営をベースにしつつ専門分野の学びを深める
- 「理論」と「実践」の双方を重視
- 「学び方を学ぶ」目標に向けて自ら学び続けられる力を養う



■ビジネスマネジメントモデル

事業を成功へと導くために、ヒト・モノ・カネ・情報を有効に活用することができるゼネラリストをめざします。

■企業会計モデル

企業経営における利益測定、企業経営状況の説明、納税額の計算という社会的責任を果たすことができるスペシャリストをめざします。

■地域観光・マーケティングモデル

地域ブランドの創造、魅力あるまちづくり、観光を活用した地域活性化に資する人材をめざします。

経営学部紹介

情報マネジメント学科

特徴

- ビジネス・データ分析・コンピュータに関する科目をバランスよく学ぶ
- デジタルの力でより良い社会を創るために素養が身につく
- 経営理論やデータを活用し、相手を説得する力が身につく



■ビジネスデータモデル

データに基づいたビジネスを開拓するための方法を理論と実践から学んでいます。

■ビジネスデザインモデル

ICTを利用した新しいビジネスシステムを構築するための方法を理論と実践から学びます。

人間学部

人間学部

人間文化学科

特徴

- 2つのコースで体系的に人間文化を学ぶ
- 多様な研究室による課題解決型の学び
- 地域で活躍できる人材の育成と資格取得をめざす



■異文化理解・芸術文学コース

異文化に関する多角的な知識と諸言語の運用能力、芸術一般に関する幅広い知識を身につけ、文化に関する情報を収集・分析・発信し、地域文化の発展・振興に貢献します。

■地域社会支援コース

地域社会に焦点を当て、地域における社会教育や産業、政策について学び、地域社会の現状と課題について多角的に理解し解決に向けた提案を行うことができる力を養います。

人間教育学科

特徴

- 現場で体験的に学ぶ
- 現場で生きる強みと専門性を身につける
- 現場経験が豊富な教員が就職を支援



■保育所・幼稚園モデル

保育・教育の目的や内容・方法、乳幼児の心理や発達などについて専門的に学び、保育や幼児教育の現場で必要とされる実践技術を習得します。

■小学校モデル

学校教育の目的、内容・方法、幼児・児童の心理や発達、教育的支援の方法などについての専門知識・技能を学び、教育実践を通して教育活動に必要とされる実践技術を習得します。

人間学部紹介



機械工学科・地域連携

金華山・観光用オブジェを制作しました ～令和7年「金華山巳歳御縁年大祭」に向けて～

令和7年、宮城県石巻市の離島・金華山では、12年に一度の「巳歳御縁年大祭」が開催されます。これに合わせ、石巻観光協会からの依頼を受け、本学理工学部機械工学科高橋智准教授の研究室に所属する学生（3名）が観光用オブジェを制作しました。

デザインのアイデア

観光用オブジェ制作は3名にとって初の挑戦。巳年や金華山にちなんだ案を検討した結果、最終的に「金華」の文字と鹿の角を組み合わせたデザインに決定しました。金華山の自然や信仰を象徴する意匠です。

設計から仕上げまで

授業で培った CAD スキルを活かし設計を行い、4台の 3D プリンターで約80個のパーツを制作。パーツは一つひとつ丁寧にやすりがけし接合、最後に金色の塗装を施して完成させました。完成したオブジェは、見晴らしの良い金華山休憩所に設置されています。

参加した学生の声

「大学で学んだ知識を実際のものづくりに活用できて良かった。オブジェの前で多くの人に記念撮影をしてもらえたうれしいです。」



完成した「金華オブジェ」と制作に携わった学生たち



金華山休憩所に設置されたオブジェを前に、無事設置を終えて記念撮影

生物科学科

全国鯨フォーラム 2025 エクスカーションに 理工学部生物科学科鈴木英勝教授と所属研究室の学生が参加

令和7年11月2日（日）、石巻市鮎川浜にて開催された「全国鯨フォーラム2025石巻」エクスカーションに、理工学部生物科学科の鈴木英勝教授と研究室所属の3年生2名が参加しました。本イベントは、捕鯨文化と鯨食文化の継承・普及を目的とし、全国の捕鯨に縁のある自治体が持ち回りで開催しているもので、今年は4年ぶりに石巻市での開催となりました。

鈴木教授と学生たちは、鮎川浜の観光物産交流施設「Cottu」にて行われた特産品販売や鯨料理の振る舞い、地域の捕鯨文化に関する展示を見学し、地域資源の活用や持続可能な水産業についての理解を深めました。

また、鈴木研究室では、鯨由来のプロテインスープや鯨ジャーキー、カステラなどの菓子、鯨骨の展示、さらには鯨由来のプラスチックフィルムなどの研究成果を紹介するブースを設置し、来場者から多くの関心を集めました。

参加した3年次生の岡亮佑さんは、「学生たちは、地域の方々との交流を通じて、鯨文化の多様性とその科学的・社会的意義について学ぶ

貴重な機会となりました。地元は石巻市で、今回の会場は震災で亡くなった祖母と鯨まつりで訪れた思い出の場所でした。震災から13年が経ち、街が少しずつ活気を取り戻していく様子を見て、深い感慨を覚えました。今回の出展では多くの方々にお越しいただき、温かい言葉や励ましをたくさんいただきました。地域のつながりを改めて感じることができ、支え合う力の大切さを実感しました。この経験を今後の活動にも生かしていきたいと思いました。」と話していました。

今後も本学では、地域と連携した研究活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



来場者へ説明する理工学部鈴木英勝教授



鯨由来の研究成果を紹介する石巻専修大学ブース



来場者へ説明する学生（写真右）

学生生活

まちなか交流拠点オープン 大学と地域つなぐ架け橋に

本学は、地域とのつながりを深めることを目的に、石巻中心市街地に「石巻専修大学まちなか交流拠点」を開設。机や椅子、大型液晶モニターなどを備えた、広さ110平方メートルほどの施設で、大学の研究活動の発信、地域住民と学生・教職員による協働の場として活用していきます。

11月6日には市民を招き、オープニングイベントを開催。挨拶に立った阿部知顕学長は、大学と地域の関係性に触れ、地域に活力をもたらす学生の若い力に期待を寄せました。

「震災伝承 × 教育・人材育成 × 文化交流」と題したトークプログラムには、人間学部の新福悦郎教授と西川慧准教授が登壇。新福教授は市内の震災遺構で実施しているフィールドワークについて、西川准教授は台湾の国立東華大学と取り組む交流プログラムについて報告しました。参加者を交えた懇談では、地域のあり方などについて活発な意見交換が行われました。

今後も、大学と地域を結びつけることを目的とした多種多様なテーマのイベントを定期的に開催します。



学生生活

硬式野球部の学生4名が南東北大学野球連盟から表彰

令和7年11月29日（土）、いわきワシントンホテルで開催された『2025年度南東北大学野球連盟表彰式』で、硬式野球部の学生4名が表彰を受けました。

今回表彰されたのは、硬式野球部の吉岡尚樹さん（経営学部4年）、小菅椋平さん（経営学部4年）、磯部大河さん（経営学部3年）、吉田春翔さん（経営学部4年）の4名。吉岡さんは春季リーグ戦で本塁打を3本放ちチームの勝利に貢献。自身初の本塁打王を受賞しました。また、攻守ともに活躍した小菅さん・磯部さんは春季リーグの捕手部門（小菅さん）・一塁手部門（磯部さん）で初めてベストナインに選出されました。



選手として活躍した3人に加え、本学硬式野球部のマネージャーであり、南東北大学野球連盟の学生委員長として連盟運営に貢献した吉田さんには特別功労賞が授与されました。



石巻専修大学のキャリア支援の強み

■ キャリアコンサルタントによる「顔の見える支援」

学科ごとに担当のキャリアコンサルタントを配置し、一人ひとりじっくり向き合いサポートします。少人数教育の特色を活かし、全学生の就職活動をきめ細かにサポートします。



■ 個別相談

インターンシップ、就職活動など進路に関する相談は、学内での対面、またはオンラインで対応しています。履歴書添削相談や、面接練習も行っています。



■ 進路支援プログラム

進路支援プログラムは、独自に構築した就職活動に必要な力を身に付けるプログラムです。3年次生を中心に、インターンシップ講座や、書類選考突破講座、模擬面接会などを実施しています。



■ 就職支援システム (S-net)

就職支援システム (S-net) は、就職活動を行う在学生と進路支援係を結ぶコミュニケーションツールです。求人情報（年間延べ18,000件）、卒業生（OB・OG）情報、先輩方の就職活動記録などを検索・閲覧することも可能です。学内の端末やスマートフォン、自宅のパソコンからも利用できます。

■ 学外機関連携

宮城県内の大学生と、ものづくり企業のマッチングを目指す「みやぎものづくりカレッジ」と連携し、県内ものづくり企業の説明会や見学会の開催を行っております。また、石巻商工会議所と連携した、インターンシップ事業、ハローワークアドバイザーによる求人紹介と就職相談を行い、石巻圏域への就職を支援していきます。この他、東北各県の就職支援団体と連携して情報発信と個別相談対応を行い、地元への就職支援を行っております。

専修大学との連携による就職支援3つのポイント

1 専修大学主催セミナーへの参加

専修大学主催の「就職活動支援各セミナー」に専修大学の学生とともに参加します。SPIオンライン準備講座、SPIオンライン模擬試験など受講が可能です。

2 専修大学キャリア形成支援課の利用

首都圏で就職活動を行う拠点として、専修大学神田キャンパス、生田キャンパスのキャリア形成支援課を利用することができます。

3 専修大学との連携講座

令和6年度より、専修大学（神田キャンパス・生田キャンパス）の公務員試験講座（講義動画）を受講できるようになりました。受講方法は、学内の専用教室での視聴またはオンデマンド視聴を選択することができます。3年間にわたるカリキュラムで実力が身につくよう計画された合理的なプログラムが1年次から受講可能です。

ひとりに寄り添って、きめ細かくサポートします。

内定者
VOICE

就職活動体験談

内定者の話を直接聞けるチャンス!

本学では、4年次の内定者が3年次生に直接アドバイスする機会として、オンラインで就職活動体験談を開催しています。内定が決まった先輩たちは、どのように就職活動を行ってきたのか、より身近な視点で体験談が聞けるため、3年次生からは「とても参考になった」「自分も頑張ろうという気になった」などといった声が聞かれています。

UHA味覚糖株式会社に内定



私は高校で自然科学部に所属しており、活動の中で植物に興味をもち、その分野で深く学びたいと生物科学科に入學しました。内定先のUHA味覚糖は、様々なことに挑戦できる環境が、試行錯誤しながら努力する私のスタイルに合っていると感じたのが志望理由です。就職活動で苦労したことはエントリーシートの作成でした。不安や悩みは一人で抱え込み、頼れる人に相談しましょう。

理学部 岩手県 大船渡高等学校出身
生物科学科 須賀 一公さん

株式会社パイロットコーポレーションに内定



私は中学2年生のころからずっと、文房具（主に筆記具）の文化を後世に伝え、手書きする人を支えたいという思いから、株式会社パイロットコーポレーションの技術職に勤めたいと思ってきました。就職活動では、予定を詰めすぎて時間管理に苦労しました。後輩へ。就職活動は自分と企業の相性を見極める場です。自分を偽らず、自己理解を深めて臨んでください。

理学部 宮城県 気仙沼高等学校出身
機械工学科 志賀 柚月さん

日本電設工業株式会社に内定



私は電気分野の理解を深めたいこと情報分野にも興味があったため入学しました。就職先は日本電設工業株式会社です。ビルなどの大きな建物の電気工事ができ、やりがいがあると感じました。就職活動では、インターンシップでの県外移動やエントリーシート作成に苦労しましたが、先生に相談し、就職する上で譲れないポイントを明確にし、それに沿った会社を見つけました。後輩には、自分に合う会社を見つけるためインターンシップに絶対参加し、面接はキーワードを見て、状況に合わせて整理して話すことがおすすめだと伝えたいです。

理学部 宮城県 登米総合産業高等学校出身
情報電子工学科 高橋 和也さん

宮城県警察に内定



就職先は宮城県警に決まりました。地域の人と密接に関わりたいという思いがあり、自分の身近な人や住んでいる地域を守りたいと思ったからです。就職活動の中は、勉強だけではなく、体力作り、面接対策などで多忙を極め、苦労しました。後輩には、志望先の情報や下調べを十分に行うよう伝えたいです。

経営学部 宮城県 石巻北高等学校出身
経営学科 鈴木 秀磨さん

日本製紙石巻工場（硬式野球部）に内定

株式会社東北システムズ・サポートに内定



私は硬式野球部に所属し、2025年春季リーグ戦で本塁打王を獲得しました。地元の憧れの社会人野球チーム（日本製紙）を目指し、3回の練習参加を経て内定をいただきました。学業との両立は大変でしたが、隙間時間を利用し、コツコツ努力することが大きな力になりました。後輩の皆さんも、考える力を大切に、自分に合った方法を見つけてください。

経営学部 宮城県 東北生活文化大学高等学校出身
経営学科 吉岡 尚樹さん

就職先は手当や福利厚生が充実し企業としても安定していた東北システムズ・サポートに決めました。就職支援の方々が親身になって相談に乗ってくれたのは、入学して良かった点です。就職活動は3年秋から始め、学業との両立に苦労しました。後輩へ、学費を自分で払うなど、インパクトのある「武器」を低学年のうちに作ることを勧めます。

経営学部 宮城県 石巻商業高等学校出身
情報マネジメント学科 山田 優作さん

石巻市役所に内定



私は人間文化学科で、地元である石巻市の発展に貢献できる人材になりたいという目標があり、その目標を達成するために石巻市役所への就職を決めました。入学して良かったのは、少人数授業が多く、教員との距離が近いため、勉強や就職活動の相談がしやすかったことです。公務員を目指している人は一般企業に進む人と比べると長丁場になります。忍耐力と計画性がとても大切です。息抜きも忘れて頑張ってほしいと思います。

人間学部 宮城県 利府高等学校出身
人間文化学科 亀山 暖さん

千葉県教育委員会に内定



私は人間教育学科で、小学校の教員免許取得を目指し入学しました。就職先は千葉県教育委員会です。「すべての子どもの自信を育む」という千葉県の教育施策に共感しました。学科の少人数教育のおかげで、先生方から教員採用試験の面接対策など手厚いサポートを受けられ、苦手な面接を乗り越えられました。後輩の皆さん、一人で抱え込まず、先生や仲間に相談しながら早めに準備を始めてください。自分で気づかない強みや改善点を教えてもらえるのは、少人数教育である本学科の強みだと思います。

人間学部 宮城県 石巻高等学校出身
人間教育学科 千葉 純心さん

活動

ACTIVITY

育友会活動報告 全国の育友会支部長

北海道・青森県支部

北海道・青森県支部長 杉沢 福巳

北海道、青森県支部長を務めさせて頂いております杉沢福巳です。

支部懇談会、青森会場にご参加下さいました会員の皆様ありがとうございました。懇談会では、日常の学生の様子や学業、就職活動について日頃接する機会の少ない先生方と直接お話しすることができ、有意義な時間となりました。個別面談は、先生方へご子女の様子もお話しする事ができます。また、育友会では学生の食を考えて100円カレー、大学祭では餅つき体験と餅の振る舞いなど色々企画を実行しております。多くの会員の皆様がご参加、ご協力頂けますようお願い申し上げます。



秋田県支部

秋田県支部長 伊藤 清人

秋田県支部長を務めさせて頂いております伊藤清人です。

支部懇談会・秋田会場にお越し頂きました会員の皆様、大変ありがとうございました。

懇談会においては学生の日頃の活動や履修状況、就職活動への取組み方など、教職員の方々と有意義な情報交換を行うことができました。子供の親として日頃から石巻専修大学と接する機会が少ないので、育友会の活動は支部懇談会や石鳳祭への参加などを通じて学生の活動に触れたり、教職員の方々と直接情報を交わすことができる貴重な取組みであると感じています。

引き続き多くの学生が有意義な大学生活を送れるよう、育友会活動を盛り上げていきたいと考えておりますので、多くの会員皆様のご参加をお願い申し上げます。



福島県支部

福島県支部長 平手 健也

福島県支部長を務めさせて頂いております平手健也です。

今年度の支部懇談会にご多忙の中ご参加くださいました会員の皆様、ありがとうございました。学業や就職について、日頃の学生の様子などを聴ける貴重な機会となりました。

いつも温かく子供達を支えてくださる教職員の皆様に心より感謝申し上げます。改めて皆様とお話ししますと、離れて暮らす子供達と思う気持ちや心配、将来への不安など同じ思いをされているのだと感じたところです。皆さんと同じ思いを共有する事で安心する事が出来ました。

次年度も、より活発な意見交換をしていけるよう、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。引き続きよろしくお願ひいたします。



宮城県支部

宮城県支部長 木見尻 亜紀

宮城県支部長を務めさせて頂いております木見尻亜紀です。

ご多忙のところ、支部懇談会にご出席いただきました会員の皆様には、心より御礼申し上げます。

今回の支部懇談会では、先生方と食事を共にしながら、学生生活の様子や親としての苦労などについて情報交換を行い、有意義なひとときを過ごすことができました。

また、10月に開催された石鳳祭では「餅つき体験と振る舞い」を企画し、会員の皆様と一緒に餅つき、学生や来場者の皆様に振る舞うことで、大学祭を大いに楽しむことができました。今年は大盛況で、あっという間に終わってしまったことが印象深く残っております。改めて、教職員の皆様の温かいご支援とご配慮に心より感謝申し上げます。

来年度の支部懇談会も、貴重な情報を共有できる機会となりますので、ぜひ多くの方々にご参加いただけますようお願い申し上げます。



岩手県支部

岩手県支部長 谷内 博規

今年度より岩手県支部長を務めております谷内博規です。

本年度の支部懇談会は「ブランニューキタカミ」を会場に開催いたしました。ご多忙のなかご参加くださいました会員の皆様には、心より御礼申し上げます。懇談会では、昼食を囲みながら和やかな雰囲気のもと、学生の履修状況や日頃の生活、就職活動の様子について、教職員の皆様から詳しくお話を伺うことができ、大変貴重な機会となりました。

また、10月には石鳳祭の「餅つき体験と振る舞い」に参加させていただき、他県の育友会支部の皆様との交流を深めるとともに、大学祭を楽しむ学生の皆さんの生き生きとした姿に触ることができました。ご対応いただきました教職員の皆様に深く感謝申し上げます。



次年度の懇談会におきましても、学生生活や就職活動支援の一層の向上・充実を目指し、多くの皆様にご参加いただき、情報交換や意見交換の場として活用していただければと願っております。



支部懇談会仙台会場



支部懇談会北上会場

からのメッセージ

山形県支部

山形県支部長 齋藤 邦之

山形県支部長を務めさせていただいている齋藤邦之です。

日頃より、会員の皆様には温かいご支援とご協力をいただき、今年度も支部懇談会を通常どおりに開催することができました。

ご多忙中にもかかわらず、ご参加くださった会員の皆様に感謝申し上げます。

支部懇談会では、学業や就職についての状況や、日頃の学生の様子など、細かなことまでお聞きできる貴重な機会となりました。丁寧にご対応頂きました教職員の皆様に感謝申し上げます。

次年度も、より活発な意見交換をしていけるよう、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。



関東支部

関東支部長 新倉 修吾

関東支部長を務めております新倉修吾です。日頃より、皆様には温かいご支援とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

今年も、専修大学神田校舎にて支部懇談会を開催し、学生の皆さん、そしてご家族の皆様にご参加いただきました。

特に、首都圏での就職活動の進め方や具体的なポイントについて共有できたことは、大変有意義であり、皆様のお役に立てたのではないかと感じております。

本年度も、学生の皆さん、そしてご家族の皆様をしっかりとサポートできるよう、引き続き取り組んでまいります。

また、支部としての新しい活動や取り組みについても、皆様と一緒に検討し、より良い環境づくりを進めていきたいと考えております。

今後も、皆様のお力になれるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



九州・沖縄支部

九州・沖縄支部長 荒牧 幸成

九州・沖縄支部長を務めさせていただいている荒牧幸成です。

今年度は喜ばしいことに専修大学熊本玉名高校で大学の先生方をお迎えし、支部懇談会を開催することができました。

九州からの在学生は他地域に比べて多くはありませんが有意義な意見交換や学生達の学びの場、日常生活について知る大変貴重な時間を過ごすことができました。九州にまで足を運んでくださった大学関係者の皆様方に感謝申し上げます。

これから先より九州、沖縄地域から多くの学生が増え九州支部がさらに盛り上がることを期待しております。



石巻専修大学育友会
主任からのメッセージ

Message

大学と家庭との 架け橋

石巻専修大学育友会 主任
人間学部 特任教授 橋江 信一



日頃より、育友会の運営にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。年度当初に計画した育友会の事業については、滞りなく行うことができました。これも偏に、杉沢会長をはじめ育友会役員並びに会員皆様のご理解とご協力のお陰であり、大学関係者一同衷心よりお礼申し上げます。

さて、育友会は、学生たちが不安なく安心して充実した大学生活を送ることができるよう、課外活動に対する援助や大学祭への補助など活動を支援する取組のほか、学生食堂での「100円カレー」の提供など、学生を経済面から支援する取組も行ってまいりました。10月の大学祭（石鳳祭）では、恒例となりました育友会企画『餅つき体験と餅の振る舞い』を実施し、来場者に餅つき体験を楽しんでいただいた後、つきたてのお餅を来場者に振る舞い、大変盛り上がりいました。

また、今年度も東北6県と東京（専修大学神田校舎）、熊本（専修大学熊本玉名高等学校）で「支部懇談会」を開催し、保証人の皆様と教職員が直接お話しして、お子様の様子をお伝えしたり大学へのご要望をお聞きする貴重な機会でした。初めて参加された会員も多く、参加された方から「学年の違う保護者の方、学科の先生方のお話を聞くことができとても貴重な時間になりました」「子どもの就職活動に向けて参考になりました」「分からぬことや知りたいこと、不安に思っていたことが解消されたので、とても助かりました」「育友会の内容を知ることができて良かった」といったご感想が寄せられました。

育友会は「学生諸君の学生生活と社会への旅立ちを支援するための組織」です。それには、学生諸君の大学での勉学、課外活動、就職活動など石巻での生活の様子をできるだけ多くご家族の皆様にお伝えすることが重要な役割の一つだと考えています。特に、はじめて自宅から離れて生活している新入生のご家族にとっては、大学の様子だけでなく、アルバイトや食生活、友人関係など心配が尽きないのではないでしょうか。そこで、育友会では、今後も、育友会活動を広く多くの皆様に知っていただくことに加え、育友会会員同士の交流を促すことを企画し、「大学と家庭との架け橋」になればと考えています。

大学のホームページ内にある育友会ページは、大学のホームページのトップ画面の上部にある「保証人」をクリックすると「育友会」があり、それをクリックすると育友会のページを開くことができます。今後も、この育友会のページをどんどん活用して、先に述べたように石巻での学生諸君の生活の様子をご家族の皆様にできるだけ早くそして多くお伝えしたいと思っています。

どうぞ、ご子女の勉学や大学生活についていつでもスマホなどで気軽にご相談ください (ikuyu@isenshu-u.ac.jp)。そうした不安或いは疑問に育友会の役員と教職員が協力してご返事させていただきます。そして、本学に対する忌憚のないご提言やご意見もお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

報告

REPORT

育友会活動報告

ごあいさつ



石巻専修大学育友会
会長 杉沢 福巳

会員の皆様には、育友会に対して日頃よりご支援ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

育友会は「大学と学生の家庭との連絡を密にし、大学の発展・向上に寄与し、会員相互の親睦を図る」という役割を担うため、保護者の皆さまの要請を受けて平成3年（1991年）に発足いたしました。そして30数年余り、ご子女の成長を見守りながら様々な活動を事業計画に基づき実施して参りました。

支部懇談会につきましては、東北6県（宮城県は石巻と仙台）と東京都（専修大学）そして熊本県（専修大学熊本玉名高等学校）の9会場で開催し、延べ100名の皆様にお越しいただきました。大学からは教職員を派遣頂き、大学の現状、学業及び就職等について説明を頂きました。また食事をしながら懇談できたことは大変有意義な機会がありました。個別相談では、学業・就職活動・資格取得そして学生生活のことについて質問を頂き、学科所属の先生方に丁寧にお答えいただきました。会員の皆さまにおかれましては、ご子女が大学生活という生活環境に慣れないながらも、学修面や生活面に支障なく取組めているか戸惑いや不安を感じることもお有りかと存じます。また上級生の会員の皆さまは、厳しい就職戦線の只中におられ、親としてどのように立ち居振る舞えばよいか悩むこともあります。そうした戸惑いや不安を解消いただけたと存じます。

今年度も育友会では、学生食堂で「100円カレー」を4月から開始し、夏期休暇期間を除いた10月までの5か月間で約4,334食（1日当たり255食）を提供しました。この「100円カレー」の提供は、昨今、物価高の影響による食料品等の値上げで生活が困窮する学生が増加しており、特に一人暮らしでは食事を抜いて生活している学生もいる様子が伺えました。このことを踏まえ、学生の食事面については、安心して学生生活に取組めるよう、栄養たっぷりで温かいカレーをお腹いっぱい食べてもらう企画として開始したものです。

また昨年に引き続き、育友会の活動を来場者に広く周知するとともに、育友会員同士の交流を図ることを目的に『餅つき体験と餅の振る舞い』を大学祭で実施しました。餅つき体験では子供達が楽しそうに杵を振り下ろし、お母さま方はその姿を写真に撮っているのが印象的でした。約400個用意した、あんこ餅ときなこ餅は集まった方に振る舞うことができました。また、この日のために集まって頂いた育友会員様のご協力もあり、大学祭のイベント実施に頑張っておられる学生さんにも、差し入れることができました。

育友会では毎年度、学生への助成として就職活動用具の提供や、サークル活動への支援を行っております。またこの他に、大学の防災・防犯面の支援や学生に有益な空間作りのためベンチの寄贈も行っております。

これからもご子女が、皆様方のご理解、励ましの中で大きく健全に大学を卒立していくために育友会が多くの実績を積み重ね、役割を果たしてまいりたいと考えておりますので、会員皆様のご支援ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和7年度 育友会役員紹介

常任役員		
役職	氏名	(学部学科・学年)
会長 兼 北海道・青森県支部長	杉沢 福巳 (すぎさわ ふくみ)	理工／情報電子工・4年
副会長	櫻井 潤 (さくらい じゅん)	人間／人間教育・3年
監査役	大澤 房子 (おおさわ ふさこ)	人間／人間教育・2年
監査役	及川 浩彦 (おいかわ ひろひこ)	理工／生物科学・3年
幹事	星 由香里 (ほし ゆかり)	人間／人間文化・2年
幹事	高松 輝賢 (たかまつ てるまさ)	理工／生物科学・2年



支部長		
役職	氏名	(学部学科・学年)
北海道・青森県支部長	杉沢 福巳 (すぎさわ ふくみ)	理工／情報電子工・4年
秋田県支部長	伊藤 清人 (いとう きよひと)	理工／機械工・4年
岩手県支部長	谷内 博規 (たにうち ひろき)	理工／情報電子工・1年
山形県支部長	齋藤 邦之 (さいとう くにゆき)	理工／生物科学・3年
宮城県支部長	木見尻 亜紀 (きみじり あき)	人間／人間教育・4年
福島県支部長	平手 健也 (ひらて けんや)	経営／経営・2年
関東支部長	新倉 修吾 (にいくら しゅうご)	理工／生物科学・3年
九州・沖縄支部長	荒牧 幸成 (あらまき こうせい)	経営／経営・3年



令和6年度 事業報告について

1 育友会員との連絡強化と育友会広報活動

- (1) 会員ご子女の『修学状況通知書（成績）』、『履修届』の送付に係る郵送費（4月末日発送分）を支出した。
- (2) 大学の概要や育友会の活動等を広く広報するための会報『いくゆう』（第31号）を作成し、翌年1月に郵送した。
- (3) 学校法人専修大学が発行し、本学を含む2大学の活動状況を伝える新聞『ニュース専修』を毎号送付した。（年11回）
- (4) 「育友会ホームページ」にて各種行事等の案内や情報提供を継続して発信した。

2 会議の開催

育友会の円滑な運営を行うため次の会議を開催した。

- (1) 定期総会 令和6年 5月26日（日）
- (2) 役員・幹事・支部長会 令和6年10月13日（日）（石鳳祭）
令和7年 3月20日（木）（学位記授与式）

3 育友会支部懇談会の開催

支部懇談会を9会場で開催した。

開催日	開催地	会場
5月26日（日）	宮城（石巻）	石巻専修大学
6月 2日（日）	岩手（北上）	ブランニューキタカミ
6月 9日（日）	山形	山形国際ホテル
6月16日（日）	宮城（仙台）	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口
6月30日（日）	秋田	ANA クラウンプラザホテル秋田
7月 7日（日）	青森	ホテルJAL シティ青森
7月 7日（日）	東京	専修大学神田校舎
7月14日（日）	福島（郡山）	郡山商工会議所
7月14日（日）	熊本	専修大学熊本玉名高等学校

4 大学祭への参加

育友会の企画として大学祭に參加した。大学祭への參加は、育友会の活動を來場者に広く周知とともに、育友会員同士の交流を促すことを目的に、「餅つき体験と餅の振る舞い」として実施した。

5 学生への助成

3年次生が就職活動を開始するために必要となる就職活動用グッズの購入費用を支援した。

6 学生に対する援助

強化指定サークル（硬式野球部、弓道部、硬式テニス部、女子競走部、サッカーチーム）及びその他のサークルに対して、サークル活動に係る経費の補助として援助を行った。

7 卒業記念行事

大学及び同窓会と提携して、令和7年3月20日（木）学位記授与式挙行後、「卒業を祝う会」を実施した。

8 福利厚生費の活用

（1）学生の安全と安心につながる防災用品及び備蓄品等を購入するため、この経費を大学に寄付した。

（2）学生食堂での「100円カレー」の提供に係る助成を行った。

（3）学生寮南側自転車用駐車ラックの設置に係る助成を行った。

（4）令和6年能登半島地震に係る災害救援金の支出について

令和5年度石川県領域に係る災害救援金の支出について
令和5年度石川県領域に係る災害救援金の支出について

9 活動強化事項

（1）支部懇談会場の内容を充実させ、会員にとって有意義な機会となるよう以下の企画を実施した。

- 学長及び理工・経営・人間学部長講話

- 卒業生による就職活動体験談

- 就職情報会社講話

- 専修大学キャリア形成支援課職員による講話

- “昼食”をとりながら会員相互及び教員との懇談

- 記念品（ゼブラクリップオーナーマルチペン、フェイスタオル）の配付

- 映像「学長挨拶等」を制作し、石巻会場以外で上映する

（2）支部ごとに会合等を開催する場合には地方支部交付金を支給し、経費の補助を行う

ことにしていたが会議費用及び通信運搬費等で支出の要望はなかった。

以上

[自] 令和6年4月1日 [至] 令和7年3月31日

● 収入の部

単位：円

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増・減(A)-(B)	備 考
①会費	12,380,000	12,090,000	290,000	会費@10,000×1,209名
②雑収入	1,000	4,620	△3,620	預金利子
収入計	12,381,000	12,094,620	286,380	
前年度繰越金	15,679,833	15,679,833	0	
合 計	28,060,833	27,774,453	286,380	

● 支出の部

単位：円

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増・減(A)-(B)	備 考
(1) 会 議 費	113,000	35,500	77,500	
1 総 会 費	50,000	0	50,000	定期総会開催費
2 役 員 会 費	60,000	35,500	24,500	常任役員・幹事・支部長会 開催経費
3 その他の会会費	3,000	0	3,000	大学関係者との会合開催経費
(2) 通 信 費	1,920,000	1,263,532	656,468	
1 会 報 発 送 費	110,000	138,715	△28,715	「いくゆう」発送費
2 ニュース専修発送費	1,110,000	995,392	114,608	発送費（年11回）
3 その他の通信費	700,000	129,425	570,575	・育友会案内発送費、学業成績発送費、事務連絡発送費 はがき代、切手代
(3) 事 務 費	1,860,000	822,057	1,037,943	
1 旅 費 交 通 費	1,010,000	409,800	600,200	常任役員・幹事・支部長会の旅費交通費
2 消 耗 品 費	500,000	165,555	334,445	・事務用消耗品・公衆衛生用消耗品・大学祭参加のための消耗品
3 事 務 委 託 費	350,000	246,702	103,298	・ニュース専修発送手数料・「いくゆう」発送委託料
(4) 印 刷 費	900,000	559,020	340,980	・支部懇談会等資料印刷・封筒印刷・「いくゆう」制作・印刷
(5) 支 部 懇 談 会 費	2,800,000	2,979,582	△179,582	・会場借用料、懇談会食事代、担当者旅費交通費・外部講師講演代、卒業生等の講話謝礼金・支部懇談会打合食事代
(6) 支 部 交 付 金	140,000	0	140,000	地方支部運営交付金（会合費等の補助）
(7) 学 生 助 成 金	2,374,000	2,220,860	153,140	・就職活動用グッズ等購入代・「100円カレー」助成代
1 物品購入助成金	350,000	349,340	660	・就職活動用グッズ等購入代
2 食事提供助成金	2,024,000	1,871,520	152,480	・「100円カレー」助成金
(8) 学 生 援 助 費	9,000,000	4,560,000	4,440,000	サークル活動援助金（強化指定団体・全国大会出場団体等を重点的に支援）
1 サークル活動援助金	5,000,000	4,560,000	440,000	
2 全国大会出場経費	4,000,000	0	4,000,000	
(9) 卒 業 記 念 費	300,000	285,000	15,000	「卒業を祝う会」開催経費
(10) 廉 重 費	100,000	0	100,000	会員・学生の慶弔費
(11) 福 利 厚 生 費	2,600,000	1,260,000	1,340,000	・学生生活の環境を充実させるための経費（自転車ラック設置工事（72台））・能登半島地震に係る災害救援金・防災用品および備蓄品等の経費
(12) 雜 費	120,000	88,660	31,340	銀行振込手数料
(13) 予 備 費	5,833,833	0	5,833,833	予定外の支出および予算を超過した支出へ対応するための準備金
次 年 度 繰 越 金	0	13,700,242	△13,700,242	
合 計	28,060,833	27,774,453	286,380	

令和7年度 事業計画について

1 育友会員との連絡強化と育友会広報活動

- (1) 会員ご子の「修学状況通知書(成績)」、「履修届」の送付に係る郵送費(4月末日発送分)を支出する。
- (2) 大学の概要や育友会の活動等を広く広報するための会報『いくゆう』(第32号)を発行する。
- (3) 学校法人専修大学が発行し、本学を含む2大学の活動状況を伝える新聞『ニュース専修』を毎号送付する。(年11回)
- (4) 「育友会ホームページ」にて各種行事等の案内や情報提供を継続して行う。

2 会議の開催

育友会の円滑な運営を行うため次の会議を開催する。

- (1) 定期総会 令和7年 5月25日(日)
- (2) 役員・幹事・支部長会 令和7年10月12日(日) (石鳳祭)
- 令和8年 3月20日(金) (学位記授与式)

3 育友会支部懇談会の開催

支部懇談会を9会場で開催する。

開催日	開催地	会場
5月25日(日)	宮城(石巻)	石巻専修大学
6月1日(日)	岩手(北上)	ブランニューキタカミ
6月8日(日)	宮城(仙台)	TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口
6月15日(日)	福島(郡山)	郡山商工会議所
7月6日(日)	秋田	ANAクラウンプラザホテル秋田
7月6日(日)	青森	ホテルJALシティ青森
7月13日(日)	東京	専修大学神田校舎
7月13日(日)	熊本	専修大学熊本玉名高等学校
7月21日(月) 祝日	山形	山形国際ホテル

※7月21日の祝日は授業実施日です。

4 大学祭への参加

育友会の企画として大学祭に参加する。大学祭への参加は、育友会の活動を来場者に広く周知するとともに、育友会員同士の交流を促すことを目的に実施する。

企画の実施が可能な場合「餅つき体験と餅の振る舞い」

*企画の実施ができない場合は、石鳳祭実行委員会の要望に沿った支援を行う。

令和7年度 育友会収支予算書

[自]令和7年4月1日 [至]令和8年3月31日

● 収入の部

単位:円

科 目	7年度予算額(A)	6年度予算額(B)	対前年度増・減(A)-(B)	備 考
①会費	12,020,000	12,380,000	△360,000	会費@10,000×1,202名
②雑収入	1,000	1,000	0	預金利子
収入計	12,021,000	12,381,000	△360,000	
前年度繰越金	13,700,242	15,679,833	△1,979,591	
合 計	25,721,242	28,060,833	△2,339,591	

● 支出の部

単位:円

科 目	7年度予算額(A)	6年度予算額(B)	対前年度増・減(A)-(B)	備 考
(1) 会議費	113,000	113,000	0	
1 総会費	50,000	50,000	0	定期総会開催費
2 役員会費	60,000	60,000	0	常任役員・幹事・支部長会 開催経費
3 その他の会合費	3,000	3,000	0	大学関係者との会合開催経費
(2) 通信費	1,960,000	1,920,000	40,000	
1 会報発送費	150,000	110,000	40,000	「いくゆう」発送費
2 ニュース専修発送費	1,110,000	1,110,000	0	発送費(年11回)
3 その他の通信費	700,000	700,000	0	・育友会案内発送費、学業成績発送費、事務連絡発送費・はがき代、切手代
(3) 事務費	1,860,000	1,860,000	0	
1 旅費交通費	1,010,000	1,010,000	0	常任役員・幹事・支部長会の旅費交通費
2 消耗品費	500,000	500,000	0	・事務用消耗品・公衆衛生用消耗品・大学祭参加のための消耗品
3 事務委託費	350,000	350,000	0	・ニュース専修発送手数料・「いくゆう」発送委託料
(4) 印刷費	900,000	900,000	0	・支部懇談会等資料印刷・封筒印刷・「いくゆう」制作・印刷
(5) 支部懇談会費	3,000,000	2,800,000	200,000	・会場借用料・懇談会食代・担当者旅費交通費・外部講師講演代・卒業生等の講話謝礼金・支部懇談会打合食代
(6) 支部交付金	140,000	140,000	0	地方支部運営交付金(会合費等の補助)
(7) 学生助成金	2,374,000	2,374,000	0	
1 物品購入助成金	350,000	350,000	0	就職活動用グッズ等購入代
2 食事提供助成金	2,024,000	2,024,000	0	「100円カレー」助成金(1日当たり平均食数×@260×34日間)
(8) 学生援助費	9,000,000	9,000,000	0	
1 サークル活動援助金	5,000,000	5,000,000	0	サークル活動援助金(強化指定団体等を重点的に支援)
2 全国大会出場経費	4,000,000	4,000,000	0	硬式野球部・女子競走部等の全国大会出場に伴う経費
(9) 卒業記念費	300,000	300,000	0	「卒業を祝う会」開催経費
(10) 慶弔費	100,000	100,000	0	会員・学生の慶弔費
(11) 福利厚生費	2,600,000	2,600,000	0	・学生生活の環境を充実させるための経費・防災用品および備蓄品等の経費・記念品代
(12) 雉費	120,000	120,000	0	銀行振込手数料
(13) 予備費	3,254,242	5,833,833	△2,579,591	予定外の支出および予算を超過した支出へ対応するための準備金
合 計	25,721,242	28,060,833	△2,339,591	

■名称

第1条 この会は、石巻専修大学育友会(以下「本会」という。)と称する。

■目的

第2条 本会は、石巻専修大学(以下「大学」という。)の方針に則り、大学と学生の家庭との連絡を緊密にして大学の発展向上に寄与し併せて会員相互の親睦を図ることを目的とする。

■本部及び支部

第3条 本会は、本部を大学内に置き、全国の必要な地区に支部を置く。

2 支部細則は、別に定める。

■会員

第4条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 正会員 大学の学部に在籍する全学生の父母又はこれに代わる保護者
- (2) 特別会員 大学に勤務する教職員

■事業

第5条 本会は、次の事業を行う。

- (1) 学生の学業・徳操並びに生活に関し家庭との連絡を図る事項
- (2) 学生の厚生・保健並びに医療の助成に関する事項
- (3) 学生の研究助成並びに経済援助に関する事項
- (4) 教職員と父母との懇談会を開催する事項
- (5) その他本会の目的を達成するために必要な事業

■運営経費

第6条 本会の運営経費は、会費及び寄付金をもって充てる。

■会費及び寄付金

第7条 正会員は、会費として別に定める金額を、毎年度の始めに納入しなければならない。

2 寄付金がある場合は、隨時本会へ納入する。

■役員

第8条 本会に、役員として会長1名、副会長4名以内、監査役2名及び幹事若干名と各支部に支部長を置く。

■役員の選出

第9条 会長、副会長及び監査役は、幹事会において選出し、総会において報告するものとする。

- 2 幹事は、会員の中から会長がこれを委嘱する。
- 3 支部長は、各支部において選出し、会長がこれを委嘱する。

■役員の任期

第10条 本部役員の任期は、4月1日から翌年3月31までの1年とする。ただし、再任を妨げない。

■役員の職務

第11条 会長は、本会を代表し、会務を統括する。

- 2 会長が不在のとき、又は欠けたときは、副会長がその職務を代行する。
- 3 副会長は、会長を補佐する。
- 4 監査役は、会務及び会計を監査し、総会に報告する。
- 5 幹事は、会長の命を受け、必要に応じてこの会の業務を行う。
- 6 支部長は、各支部を掌握し、本部との連絡を緊密にする。

■会議の招集

第12条 本会に、総会、幹事会、常任役員会及び支部長会を置き、それぞれ会長が招集し、その議長となる。

**■会議の構成及び開催**

第13条 総会は、正会員と特別会員で構成し、定期総会と臨時総会を開催する。

- (1) 定期総会は、年1回開催する。
- (2) 臨時総会は、必要に応じて開催する。
- 2 幹事会は、常任役員会構成員及び幹事で構成し、必要に応じて開催する。
- 3 常任役員会は、会長、副会長、監査役及び育友会主任で構成し、必要に応じて開催する。
- 4 支部長会は、常任役員会構成員及び各支部長で構成し、定期に年1回開催する。

■会議の審議事項及び議決

第14条 総会は、予算、決算及び事業計画、その他重要事項を審議する。

- 2 幹事会は、総会提出議案、その他重要事項を審議する。
- 3 常任役員会は、総会並びに幹事会における決定事項を執行し予算案及び決算書類を作成し、その他重要事項を審議する。
- 4 支部長会は、地方懇談会の開催、その他重要事項を審議する。
- 5 第1項及び第2項の議決は、出席会員の過半数の同意によるものとする。

■名誉顧問、顧問及び相談役

第15条 本会に、名誉顧問、顧問及び相談役を置くことができる。

■育友会主任及び事務職員

第16条 本会に、大学より選任された育友会主任及び事務職員を置く。

- 2 育友会主任は、大学の教授若しくはこれに準ずる者とし、その任免権は学長に帰属する。
- 3 育友会主任は、大学選出の役員として常任役員会、幹事会、総会等に出席し、本会の運営に対して助言と指導を行う。
- 4 事務職員は、大学職員とし、その選任は学校法人専修大学理事長の所管とする。
- 5 事務職員は、本会の経理及び会務を管掌する。

■資産管理

第17条 本会の資産管理の責任は、会長及び常任役員会が負うものとする。

■会計年度

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

■会則の改廃

第19条 この会則の改廃は、総会の議決によらなければならない。

■附 則

この会則は、平成3年4月1日から施行する。

この会則は、平成7年7月22日から施行し、平成7年4月1日から適用する。

i 育友会とは

石巻専修大学の方針に則り、学生のご父母(保証人)の皆様を正会員とし、大学と家庭との連絡を密にして、学生のより良いキャンパスライフと大学の発展向上に寄与し、併せて会員相互の連携を図ることを目的として設置されているのが育友会です。大学内に本部を置き、会員の多い県に支部を設置し、様々な活動を行っています。

育友会は各支部の活動をサポートいたします

支部懇談会以外にも保証人同士のつながりを増やしたい、支部の活動を充実させたい、など育友会の活動に要望がございましたら、お近くの支部にご連絡ください。各支部と連携し、より良い体制づくりを進めてまいります。

石巻専修大学 育友会
ご連絡 TEL.0225-22-7743

学長メッセージ



ひとりひとりの学生が
充実した学生生活を
おくことができる
活気ある大学運営を進めます

石巻専修大学
学長 阿部 知顕

育友会はご家族と大学を結ぶ信頼のネットワーク

育友会の皆様には日頃より石巻専修大学に対してご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

育友会は学生各位のご家族の皆様と大学とが緊密な連携を確保するための組織です。育友会の活発な活動と、本学に対するご提言は大学にとりまして極めて大切です。育友会会員の皆様からのご提言に基づき、学業や進路、健康や居住環境等、さまざま面から学生各位を支援する具体的な改善を進めています。

育友会活動の中でも最重要イベントでもあります「支部懇談会」は、5月25日(日)から7月21日(月)にかけて、東北6県(宮城県は石巻と仙台)と東京都(専修大学)、そして熊本県(専修大学熊本玉名高等学校)の9会場で開催し、延べ100名の皆様にお越しいただきました。各会場では、昼食を共にしながら、本学の現状について教職員から説明させていただく他、個別相談を実施し、関係教職員が学業成績および履修状況、学生生活全般、就職・進路等について、育友の皆様からの相談にお答えさせていただきました。

学生の一大イベントである「石鳳祭」では、育友会会員の皆様に恒例となっている「もちつき体験&餅の振る舞い」を今年も実施いただき、来場者の皆様から大変ご好評を頂いております。昨年4月から開始した学生食堂での「100円カレー」は、物価高の影響による食料品等の値上げで生活が困窮する学生への支援として、令和7年度もご継続いただいており、多大なるご支援に心より感謝申し上げます。

「第2次中長期ビジョン(2025~2029年度)」の推進

本年度より、第2次中長期ビジョン(2025~2029年度)に取り組んでおります。このビジョンは、第1次中長期ビジョン(2020~2024年度)から得られた成果と反省の基に、特に地方都市において激変する教育環境に適応しつつ、質の高い教育・研究を提供できる高等教育機関としての役割を確立すべく、今年からの5年間を見据えた大学運営全般に関わる計画です。

少子化の影響や若年層の人口流出が多くの地方都市で加速している現状を踏まえると、高等教育全体の適正な規模を見据えた教育政策の展開が求められています。そのような環境下で、石巻圏域唯一の高等教育機関として永続的に存続するには、本学が真に市民の皆様に必要とされる大学にならなければなりません。第2次中長期ビジョンでは、学生支援、地域連携、社会実践教育といった大きくテーマを設定し、行動目標を掲げ、その目標を達成するため、教職員一同、その実現に向かうべく、具体的な計画に基づいて着実に取り組んでまいります。

石巻専修大学は、理工、経営、人間の3学部を擁する総合大学であり、小さいながらも多様な学問領域を有しています。文理横断型の教育研究活動や社会知性を活かし、「地域に根ざして世界に尖った大学」を大学ブランドスローガンとして堅持し、これからも地域と共に学生と地域社会の未来を創り、社会から真に必要とされる大学を目指し続けます。今後とも、育友会の皆様方からご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



石巻専修大学育友会広報誌

IKUYU

[いくゅう]
vol.32
2025.12

発行者／石巻専修大学育友会 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1

育友会に関するご相談がございましたら遠慮なくご連絡ください。

TEL 0225-22-7743

FAX 0225-22-7710

E-mail ikuyu@isenshu-u.ac.jp



●ホームページではキャンパスの最新情報を発信しています。 <https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>